

## 第 206 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【平成 31 年 4 月 9 日(火) 開催 会場: 岩崎学園 (新横浜 1 号館 8 階)】

1、株式会社 Social Area Networks 代表者 森田 高明 氏 (<https://socan.co.jp/>)

【住所】東京都世田谷区用賀 2-36-17 林ビル 302 【設立】2016 年 12 月 【資本金】40,000 千円

【事業概要】「屋内外で位置情報をシームレスに捕捉する次世代型位置情報ソリューション」

## ■ 近距離位置情報ソリューション『Live Location Service』

国内の位置情報市場が 2020 年に 62 兆円に達すると言われている近年、GPS を用いた広範囲での測位だけでなく、屋内などの近距離位置測位にも注目が集まっています。

当社は『Live Location Service(LLS)』と呼ばれる独自の位置情報ソリューションを販売し、人の位置情報をリアルタイムに測定するシステム IoH(Internet of Human)ソリューションの実現を目指しています。『LLS』は、携帯型デバイスの位置情報を基地局から収集し、管理サーバーに集約したデータを API を通して提供することで人やモノの位置をリアルタイムに管理者や家族が確認できるシステムです。子供や老人の見守り、工場や空港での職員や共有設備の位置管理など様々な場面での活用が見込まれています。

## ■ 小型で充電フリーな IoT デバイスを自社開発

『LLS』に用いるハードウェアは全て自社開発を行っています。薄いカード型の『Jcard デバイス』は携帯が容易なだけでなく、屋内ではビーコン、屋外では GPS を用いてシームレスな位置測位が可能です。半径 1~2km の範囲内の『Jcard デバイス』からのデータを取得可能な『Gway 基地局』、アプリケーションソフトとセットにしたシステムとしての販売を進めています。『Jcard デバイス』は基本特許を取得済みで、現在は半永久的に測位が可能なソーラー充電型のモデルと、測位システムに関する特許を出願中です。

【コメント】現在、引き合いの注文が来ているのが発電所内で作業する業者の安全確保や空港内での職員や共有資産の位置測位などの大規模案件もあれば、マンションや FA 機器の IoT 化などの小規模案件もあります。今後の事業展開としては、自社で新製品開発を行っていくとともに大規模案件と小規模案件の両方を進めていきたいとおっしゃってありました。

2、朝日マップ株式会社 代表者 遠藤 久資 氏 (<http://www.asahimap.co.jp/>)

【住所】神奈川県横浜市磯子区東町 17-29 ソフトタウン根岸壱番館 804 【設立】2015 年 11 月 【資本金】3,000 千円

【事業概要】朝日マップは「横浜から発進するオープンストリートマップの世界的活用」を目的として設立されました。具体的な一歩は、横浜ビジネスグランプリ 2019 のファイナリストとして発表させていただきました「OSM で歩くアーストレッキングナビ」の商品開発です。

会社は 2015 年末に設立されましたが、実際の活動は昨年末からで代表の 30 年間の地理情報システムのノウハウや 300 万ステップのソースコード資産を駆使して事業化を進めています。

【コメント】『Open Street Map』とは、2004 年に英国でスティーブ・コースト氏により始まった 420 万人の世界地図 Wiki プロジェクトのこと。特徴としては、①毎日更新される世界のネット地図であり、②使用にあたり料金が発生しない、③商用利用でも地図を自由に加工出来、④地図の作成や更新に参加出来ることです。特に登山では通信不可能な場所が多く、道に迷ってしまうことが多々あります。そこで通信不要で地図を表示可能にし、徒歩ルートを音声ガイダンスする商品を開発しました。これを多言語化すれば観光目的のインバウンド&アウトバウンド対応にも活用することが出来ます。

3、有限会社魔法アプリ 代表者 福井 健人 氏 (<http://magicalapplications.com/>)

【住所】埼玉県朝霧市根岸台 6-1-30 【設立】2015 年 10 月 【資本金】3,000 千円

【事業概要】不安障害の治療で用いられる曝露療法をカウンセリングルームなどの室内でも実施可能にする VR ソフトウェアを開発し、心療内科等へ提供する。

## &lt; 事業内容 &gt;

不安障害の啓発

不安障害治療において心理療法を活用出来る体制を提供する。

【コメント】『不安障害』とは、不安で人と話せなくなる、動機や震えが止まらなくなる、職場に行けなくなるなどの過剰に不安を感じる障害のことで、20 人に 1 人が苦しんでいるそうです。この曝露療法は不安や苦痛を克服するため、患者が恐怖を抱いている物や状況に対して、危険を伴うことなく 20 分以上直面させる治療方法のこと。通常、カウンセリングルームで曝露療法は実施不可能ですが VR を使用すれば可能になるそうです。しかし日本において VR 曝露療法が普及しておらず、開発や販売もされていない。昨年 9 月より都内のクリニック、今年 3 月に名古屋で試用がスタートしました。日本の不安障害患者の 86% が治療を受けていないのは自覚症状もなければ、知識不足がゆえに同社では不安障害の啓発活動を行い、不安障害リスクを減少していくのが目的だそうです。



## 《感想》

今回、ご発表頂きました企業様同士でお互いに連携出来ないかと模索されている姿が印象的でした。

もし今後、発表会での発表をご希望される企業がいらっしゃいましたら、お早目にご連絡をお願い申し上げます。

☆☆☆☆ 今後の活動予定 ☆☆☆☆

## 第 207 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

■ 日 時: 平成 30 年 5 月 14 日(火) 13:30~16:00

■ 会 場: 学校法人岩崎学園 新横浜 1 号館 8 階

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA  
(株) TNP パートナーズ、(株) TNP オンザロード  
井 汲 美 樹